

## 水産業強化支援事業事後評価報告書

整理番号	3-1	北海道
メニューの内容	水面利用調整の推進	
事業実施主体	北海道	
評価期間	令和3年度	
事業費	15,647 千円	
交付金額	7,823 千円	
成果目標	・沿岸漁業調整対策会議開催回数5回、北方四島安全操業監視日数158日、ロシア連邦への通報回数(月報)20回、海外漁場入域漁業指導担当者会議1回、安全操業指導会議6回(令和3年度)	
実績値	・沿岸漁業調整対策会議開催回数3回、北方四島安全操業監視日数158日、ロシア連邦への通報回数(月報)25回、海外漁場入域漁業指導担当者会議1回、安全操業指導会議4回(令和3年度末)	
事業の目的	資源利用に係る調査及び漁場利用調整・指導等の開催、国際漁場隣接地域における水域監視・漁場指導等を行う。	
事業の成果	・資源利用に係る調査及び漁場利用調整・指導等の開催、国際漁場隣接地域における水域監視・漁場指導等を行い、操業管理の徹底や外国漁船とのトラブル防止が図られた。	
その他特筆すべき事項		
備考		

## 水産業強化支援事業事後評価報告書

整理番号	3-2	北海道
メニューの内容	密漁防止対策の推進	
事業実施主体	北海道	
評価期間	令和3年度	
事業費	6,525 千円	
交付金額	2,700 千円	
成果目標	・立看板設置等 34枚 合同パトロール1回（令和3年度）	
実績値	・立看板設置等 66枚 合同パトロール1回（令和3年度末）	
事業の目的	立看板の設置により、広く一般に対し密漁防止の普及啓発を行うことで、密漁行為の抑止的効果の向上を図る。	
事業の成果	・啓発看板等を設置し、合同パトロールを実施したことにより、水産資源の保護及び漁業秩序の確立が図られた。	
その他特筆すべき事項	/	
備考		

## 水産業強化支援事業事後評価報告書

整理番号	3-3	北海道
メニューの内容	密漁防止対策の推進	
事業実施主体	北海道	
評価期間	令和3年度	
事業費	868 千円	
交付金額	433 千円	
成果目標	・遊漁啓発小冊子 18,790冊(令和3年度)	
実績値	・遊漁啓発小冊子 18,790冊(令和3年度末)	
事業の目的	密漁防止のため、普及啓発を行う。	
事業の成果	・道の出先機関や釣り具店等を通じて、遊漁者に配布し、また、警察や海保といった取り締まる側にも配布することで、遊漁秩序の維持が図られた。	
その他特筆すべき事項	/	
備考		